

富士山



原子力政策に対する立地自治体としての意見 (原子力委員会)

浜岡原子力発電所

静岡県 御前崎市 令和4年8月2日

1. 原子力規制に対する評価



Copyright 2021 © OMAEZAKI CITY All Rights Reserved

1 原子力規制に対する評価（審査の長期化による課題）

- ・ 2011年3月11日 東日本大震災
- ・ 同年5月6日、内閣総理大臣が中部電力へ浜岡原子力発電所の停止を要請。同月14日までに全号機を停止。
- ・ 2013年7月新規制基準施行
- ・ 2014年2月14日、浜岡4号機の新規制基準適合性確認審査を申請。翌年5月に3号機を申請。
- ・ 4号機申請から8年が経過するも審査の見通しが立っていない状況。



- ・ **審査の長期化に伴う市政への影響など課題が山積**



適合性確認審査の長期化による課題

- ① 市民の安全に対する不安
- ② 市政運営や市内経済への影響
- ③ 浜岡3号機は2027年で40年
- ④ 現場技術力の低下（運転状態の未経験者の増加）



課題① 市民の安全に対する不安

- ・ 審査の長期化による市民の不安

安全性に対する不安

こんなに時間が掛かるのは、やはり危険なのでは

新規制基準に適合しているか分からない

地震や津波に対する中部電力の想定が甘いのでは

今後の見通しに対する不安

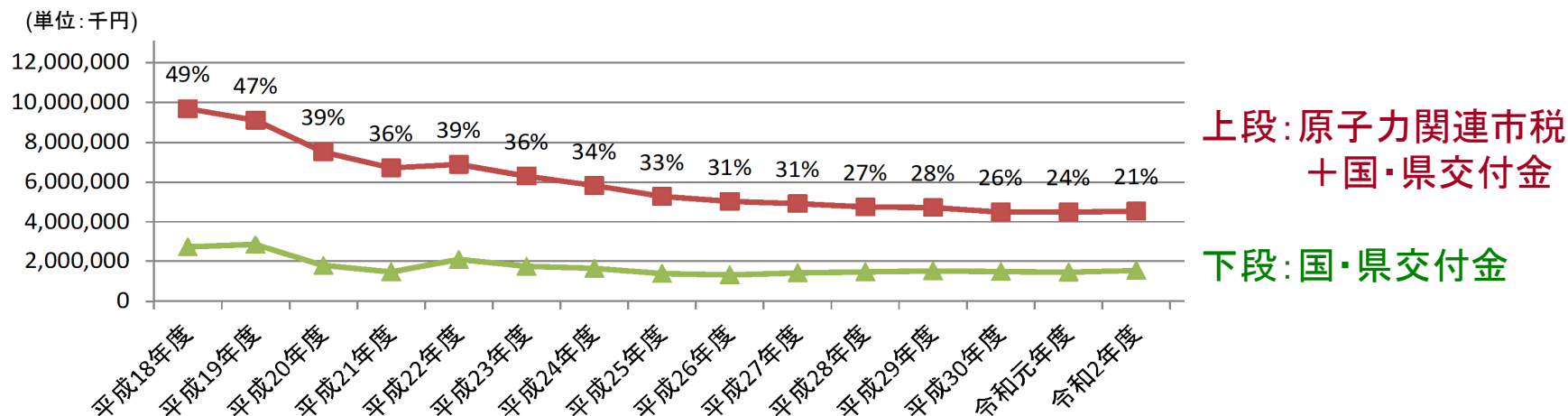
国は、浜岡を再稼働させないようとしているのではないか

停止期間も長くなり、このまま再稼働できないのでは

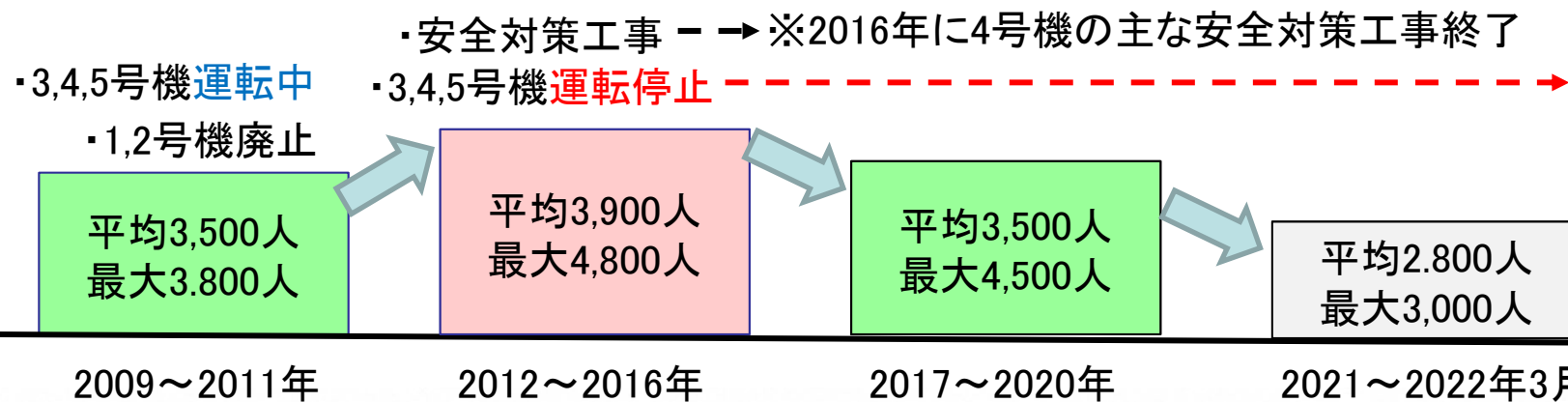


課題② 市政運営や市内経済への影響

原子力関連歳入等の推移

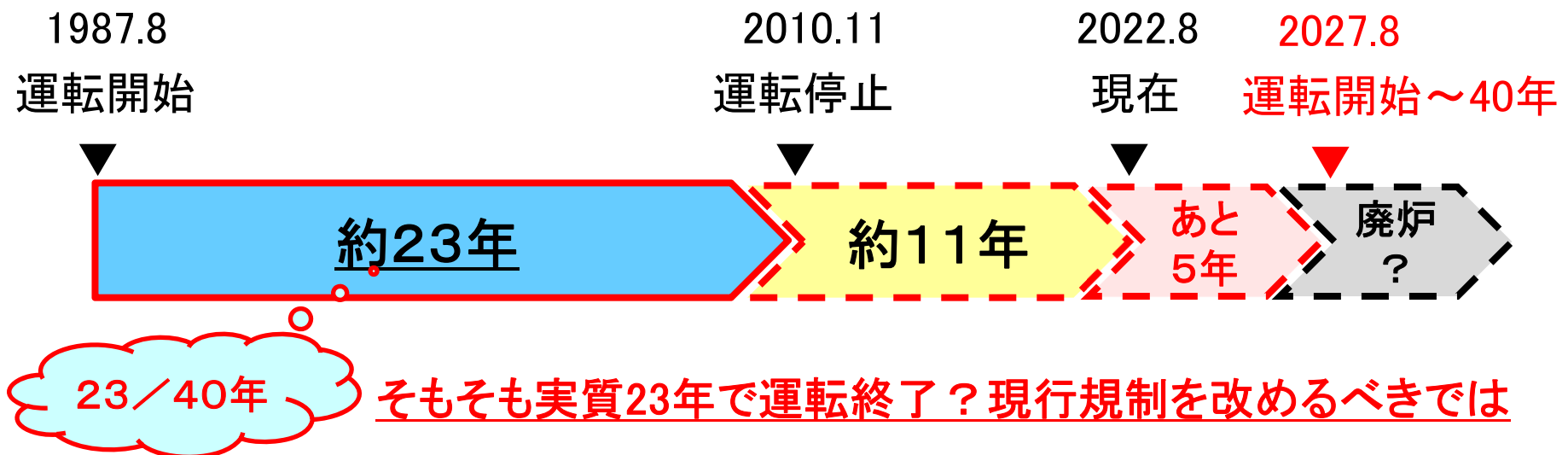


発電所で働く従事者の減少



課題③ 浜岡3号機は2027年で40年

- ・ **あと5年**で3号機が廃炉になってしまうおそれ



- ・ 仮に廃炉になれば御前崎市の経済にも影響

・ 宿泊先、飲食店疲弊 ・ 雇用の喪失 ・ 人口減少 など

課題④ 現場技術力の低下

○中部電力社員

運転状態の未経験者が増加

○協力会社社員

現場作業が減り従事者も減少

現場技術力の低下

安全性への懸念

(全国的にも)

- ・全国的にも原子力産業に大きな影響がおよぶ可能性
- ・資源の少ない日本で築き上げてきた準国産エネルギーである原子力の技術で世界をリードしていく必要がある

2. 原子力災害への取組状況と課題



2 原子力災害への取組状況と課題

○浜岡地域の取組状況

- ・すべての市町(11市町)が広域避難計画を策定

○御前崎市の取組

- ・広域避難計画(平成29年3月策定、以後5回修正)
- ・広域避難計画の住民説明会を開催
(令和3年12月に2回実施)
- ・避難行動要支援者の放射線防護施設への搬送手段の確保
市内福祉施設等に福祉車両22台を配備(中部電力)



放射線防護施設(エアシールド)設営の連携訓練



広域避難計画(広域避難ガイドマップ)住民説明会



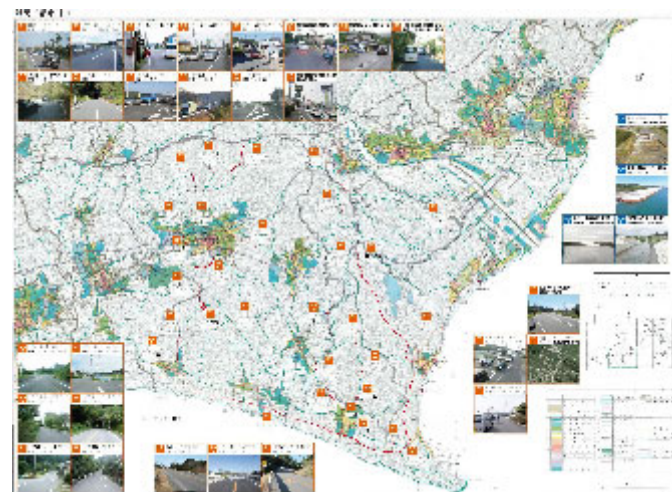
広域避難計画の更なる具体化・充実化への支援

国への要請事項(御前崎市、御前崎市議会)

- 1 浜岡地域原子力協議会の継続的な開催
- 2 広域避難受け入れ自治体への国の支援
- 3 原子力災害対策に係る補助金の拡充
- 4 広域避難に係る渋滞対策
- 5 国から職員派遣等の支援

静岡県への要請事項 (静岡県原子力発電所安全等対策協議会)

- 1 インフラの整備
- 2 御前崎港の整備促進
- 3 地域交通の確保
- 4 原子力防災対策の強化
- 5 原子力防災における新型コロナウイルス感染症対策



整備路線(20路線) 津波等対策施設(4施設)

むすびに(御前崎市の思い)

- ・ 原子力政策への思いは、これからも変わらない
- ・ 市民の不安解消のためにも1日でも早く審査に合格
- ・ 原子力発電所の新增設やリプレイス等、長期的な視点に立った政策が必要

